令和3年 第2回松田町議会定例会 会議録 (第2日目)

令和3年6月3日 午前9時00分 開議

1. 出席議員 10人

—	—	2番	古谷星工人	3番	内田晃
4番	平野由里子	5番	田代実	6番	井上栄一
—	—	8番	中野博	9番	飯田一
10番	齋藤永	11番	寺嶋正	12番	大館秀孝

2. 欠席議員 2人

1番	唐澤一代	7番	南雲まさ子
----	------	----	-------

3. 説明のための出席者 11人

町長	本山博幸	副町長	田代浩一
教育長	浄泉和幸	会計管理者 兼出納室長	—
政策推進課長	鈴木英幸	総務課長	早野政弘
税務課長	山岸裕子	町民課長	川本博孝
福祉課長	—	子育て健康課長	—
観光経済課長	柳澤一郎	参事兼まちづくり課長	高橋英雄
環境上下水道課長	渋谷好人	教育課長	遠藤洋一

4. 出席した議会事務局書記 2人

事務局長	石井友子	書記	鈴木美紅
------	------	----	------

5. 議事日程

- 日程第 1 議案第 24 号 松田町行政協力委員に関する条例
- 日程第 2 議案第 25 号 松田町寄農と交流拠点施設の設置及び管理に関する条例
- 日程第 3 議案第 26 号 松田町やまびこ館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第 4 議案第 27 号 松田町税条例の一部を改正する条例
- 日程第 5 議案第 28 号 松田町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例
- 日程第 6 議案第 29 号 令和 3 年度松田町一般会計補正予算（第 2 号）
- 日程第 7 議案第 30 号 令和 3 年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 8 議案第 31 号 令和 3 年度松田町下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）

6. 議会の状況

議 長 皆さん、おはようございます。松田町議会定例会本会議第 2 日目を迎え、議員各位には定刻までに御参集いただき、御苦労さまです。

本日も引き続き新型コロナウイルス感染予防を継続します。傍聴席は10席とし、マスクの着用、くしゃみ・せき・発熱の方の傍聴の御遠慮、入室時の消毒などをお願いしています。議員並びに町長以下職員もマスクの着用を許可しますが、発言の際は内容を明確にし、マイクを活用して発言してください。また、町長の説明は今まで以上に的確かつ分かりやすく、議員各位おかれましても要点を明確にして質問をして、時間短縮に努めてください。休憩中は窓を開けるなどして換気を行ってください。また、町長から委任された課長職の出席は、説明・答弁に支障のない範囲で必要な人員とします。なお、クールビズ期間中であり、適宜上着の着脱をして結構です。

それでは、ただいまの出席議員は議員定数12名中10名です。報告いたします。唐澤議員、南雲議員におかれましては入院、療養のため本定例会を欠席いたしておりますので、御承知おき願います。

それでは、ただいまの出席議員は議員定数12名中10名です。よって、地方自治法第113条の規定による定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を

開きます。

(9時00分)

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

それでは本日の会議を開きます。

議 長 日程第1「議案第24号松田町行政協力委員に関する条例」を議題といたします。

町長の提案説明を求めます。

町 長 皆様おはようございます。定例会2日目、何とぞよろしくお願い申し上げます。

議案第24号松田町行政協力委員に関する条例を別紙のとおり制定する。

令和3年6月2日提出、松田町長 本山博幸。

提案理由。非常勤の特別職である行政協力委員に関して、現在の職務内容やほかの職との関係を鑑み、当該委員の設置根拠を条例とすることで、地方公務員法における位置づけを変更し、特別職としての身分を明確にするため提案するものでございます。よろしくお願いいたします。

議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

総務課長 それでは、議案第24号松田町行政協力委員に関する条例につきまして御説明させていただきます。

それでは、議案を1枚おめくりください。この松田町行政協力委員に関する条例は、新規条例となりますので、各条ごとに朗読させていただき、その後、要点を説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、第1条、目的といたしまして、この条例は、松田町行政協力委員の設置、組織及び運用に関し必要な事項を定めることを目的とする。第1条では、本条例を制定する目的として、松田町行政協力委員の設置、組織及び運用に関する事項を定める旨を規定しております。

第2条、設置といたしまして、町と町民の緊密な連携を行い、町政の健全な発展と円滑な運営及び住民福祉の向上を図るため、自治会ごとに松田町行政協力委員を設置する。第2条では、行政協力委員を設置する根拠について規定しております。

第3条、委嘱。行政協力委員は、各自治会において選出された自治会長をもって町長が委嘱する。第3条では、各自治会の自治会長が行政協力委員となり、町長により委嘱を行う旨を規定しております。

第4条、任期といたしまして、行政協力委員の任期は当該自治会長の在任期間とする。第4条では、行政協力委員の任期について規定しております。

第5条、身分といたしまして、行政協力委員は、地方公務員法第3条第3項第2号に該当する非常勤の特別職とする。第5条では、行政協力委員の地方公務員法上の位置づけを明確に規定するため、同法の第3条第3項第2号に該当する旨を規定しました。

第6条、職務といたしまして、行政協力委員は行政連絡事務その他目的達成のため、次に掲げる事務を処理する。1、行政上必要な伝達事項を自治会内の町民に周知させ、またはこれを取りまとめること。2、行政上必要となる簡易な調査、報告及び取り次ぎに協力すること。3、その他自治会内の住民の福祉増進及び教育増進並びに地域の環境整備に協力すること。第6条では、行政協力委員の職務に関して、1号から3号にかけて具体的に明文化し、規定するものでございます。内容については、今まで行政協力委員の方に担っていただいているものからは変更はありません。従前の事務量から増減が伴う規定でもありません。

第7条、指導及び助言といたしまして、町長は事業等の実施に当たり、必要があるときは行政協力委員に指導及び助言を求めることができる。第7条では、特別職である行政協力委員の立場として、第6条に規定した職務のほか、町から各事業等に関する諮問機関的な役割を担う旨を明確にする規定でございます。本条も従前の事務量から増減が伴う規定ではございません。

第8条、報酬といたしまして、行政協力委員に対する報酬は松田町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の規定による。第8条ではですね、年額報酬を支給する根拠の条例を示す規定です。

第9条、副行政協力委員としまして、行政協力委員を補佐し、行政協力委員が事故あるときにその職務を代理させるために、各自治会に副行政協力委員を

置く。2、副行政協力委員は、各自治会の副自治会長をもって充てることとし、原則1名とする。ただし、自治会の世帯数が200世帯を超える場合は、2名置くことができる。3、前項に定めるもののほか、地域の事情により町長が認めた場合は副行政協力委員を増員することができる。4、副行政協力委員の任期については、第4条の規定を準用する。ただし、委嘱状の交付は省略する。第9条では、各自治会の副自治会長を副行政協力委員として、行政協力委員を補佐し、場合により代理となる旨を規定しております。

第10条、守秘義務といたしまして、行政協力委員及び副行政協力委員は、職務上知り得た秘密及び個人情報を第6条及び第7条の規定に基づく活動に活用し、正当な理由なく他人に漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。第10条では、特別職は地方公務員法34条に規定される秘密を守る義務の適用がないことから、規定するものでございます。

第11条、委任といたしまして、この条例の施行に関し必要な事項は町長が別に定める。第11条では、ほかの条例と同様に委任規定を設けるものでございます。

最後に附則といたしまして、この条例は公布の日から施行させていただくものでございます。また、第2号の松田町行政協力委員設置に関する規則は廃止させていただくものです。

なお、参考資料1は5月の全員協議会の資料でございます。参考資料2は松田町行政協力委員に関する規則を添付しておりますので、後ほど御高覧ください。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしく御審議のほどお願いいたします。

議 長 担当課長の細部説明が終わりました。それでは、これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

5 番 田 代 この件については、総務文教常任委員会に付託して詳細詰められると思います。私、産業厚生ですので、この場で1点だけ質問させていただきます。たしかこの行政協力委員に関する条例、これについては昨年提案されて取り下げており

ます。再度提案されて、また取り下げされていると思います。簡単に、一番当初ので結構です。当初の提案に対して、今回3回目の提案、どのように変わったのか。条例については一つ一つ今、総務課長から説明ありましたけれどね、取下げ、取下げって再度3回目出された。じゃあ、その違いは何なのかということをお簡潔にお答えください。お願いします。

総 務 課 長 今、田代議員の質問にお答えします。一番初めの当初はですね、会計年度職員などの法律が改正…地方公務員法の法律が改正されたことにより、今まで行政協力委員がですね、今度は私的なボランティア、私人扱いということで、法律のほうが変わったということで、それで行政協力委員の位置づけをそのような形で私的ボランティアということでさせていただくという形で条例のほうを上げさせていただいたんですが、その条例を取下げさせていただいて、また再度、再考させていただきました。その後ですね、また再度、町のほうで、やはり法律の趣旨と照らし合わせて行政協力委員の位置づけをどうするかという、内部で調整をさせていただいたんですが、やはり法律の趣旨にのっとって行政協力委員を法律の位置づけと同じような形でさせていただきたいということで、再度同じ内容で私人という形の扱いで上程をさせていただきましたが、そちらのほうについてもちょっとやはり内容を再精査しなければいけないということで、再考させていただきたいということで取下げさせていただいて、その年の3月にですね、現状として行政協力委員を今現在の公務員法の第3条第3項の規則にのっとった形での位置づけで今、させているような状況でございます。以上です。

5 番 田 代 このとき上程されたときに、多分1回目だと思うんですけども、私、本山町長に周りの状況はどうなんだと。上郡というのはやっぱり一つのエリアですから、周りのことも見ながらやらないと、これちょっと、これから心配ですねという発言をしました。そのとき本山町長は、いや、松田独自なんだよと。私は私の町のことでやるんだということで提案されたはずですよ。そういう回答いただいています。その次もそういう形で提案されて、取り下げてしまった。今回は、それをある程度改めてというふうなことだと思うんですけども、ここで

整理させてもらいますと、まず1点目が、早野総務課長、じゃあその条文がどこが変わったというのを端的にもう少し。

それと2点目に、本山町長、冒頭お話しした松田独自のものだ。そういうふうにお話しされましたけれども、今はこれ、周りの町と比べていかなものなのかなど。その辺について御回答お願いしたいと思います。

総務課長 ただいま田代議員の質問にお答えさせていただきます。今現在の位置づけは、先ほど私が申しましたように、地方公務員法第3条第3項第3号ということで、位置づけとしましては臨時または非常勤の顧問、参与、調査員、嘱託員等に該当するような内容でございます。それを今回この条例で第3条第3項第2号、これは執行機関の委員及び執行機関の附属機関である委員及び委員会の構成員という形の…（私語あり）分かりました。すみません。規則と変わったところということでよろしいでしょうか。分かりました。第7条の指導及び助言というところが新規に追加をさせていただいているところと、あともう一つが、第10条の守秘義務を追加させていただいております。

それとですね…そうですね、その2点でございます。以上でございます。

町長 町独自のものということでありますので、ほかの町はどうこうは、私自身は確認はちょっとしてませんけども、私自身はこの条例についてはですね、当初からですけどね、松田町の交通指導隊等が独自でありますので、それと同じでいいんじゃないかとずっと思っていたんですけども、やっぱりうまくその辺がかみ合わなくて、前回、やりとりをさせてもらいながら、最終的には規則で収まったということでありました。それを今回は、やはり行政協力委員の方々のあれだけの努力をとか、いろいろお務めのことを考えれば、町独自として条例化するのが適切ではないかということで、今回提案をさせていただいているということでございます。以上です。

5番 田代 先ほど総務課長から説明ありましたように、前は私人、ボランティア扱い。それが今回は地方公務員法に準ずる扱いと。私はそれが大正解だと思います。それで、特に自治会というのはやっぱり行政の一番の基本なんですよ。自治会がたくさんあって、連合体になったのが松田町なんですよ。ですから、自

治会長とは本当に行政のパイプをうまくしてやって、誤解のないように、これからも運営をお願いしたいと思います。以上で私の質問を終わります。

議 長 ほかにございますか。

6 番 井 上 委員会付託ということの中でですね、その前提となります今回の条例の中の一番最後に、附則の下にですね、行政協力委員設置に関する規則は廃止するとなっています。この中で参考資料の2に書かれているこの松田町行政協力委員設置に関する規則、これを廃止するというふうに理解しました。であれば新しい規則もですね、必要ではないかなというふうに思います。委員会審議までにですね、対応できるかどうかをお伺いいたします。

総 務 課 長 こちらのほうの規則を廃止で、新しい今回の条例に伴う規則を新しくそろえるということでしょうか。分かりました。（私語あり）（「作るか、作らないか。」の声あり）作ります。（「であれば委員会審議までに。」の声あり）分かりました。作ります。

議 長 用意のほうをよろしくお願いします。ほかにはございますか。

この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声多数）

異議なしと認め、質疑を打ち切ります。

お諮りいたします。ただいま議題になっています議案第24号松田町行政協力委員に関する条例については、総務文教常任委員会に付託したいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声多数）

異議なしと認めます。よって、本案は総務文教常任委員会に付託し、審査することに決定いたしました。

議 長 日程第2「議案第25号松田町寄農と交流拠点施設の設置及び管理に関する条例」を議題といたします。

町長の提案説明を求めます。

町 長 議案第25号松田町寄農と交流拠点施設の設置及び管理に関する条例を別紙のように制定する。

令和3年6月2日提出、松田町長 本山博幸。

提案理由。松田町の豊かな自然を生かした農業体験や自然体験における健全な休養と交流の場を提供し、地域の振興及び地域経済の活性化に寄与することを目的として、松田町寄農と交流拠点施設の設置及び管理に関し必要な事項を定めるため提案するものでございます。よろしく申し上げます。

議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

観光経済課長 それでは、議案第25号松田町寄農と交流拠点施設の設置及び管理に関する条例について御説明を申し上げます。

今回提案いたしますこの施設でございます。中津川左岸、みやま運動広場の下流側ですね、平成4年にふれあい農園の管理棟として建設をしたものでございます。現在は特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律、これに基づきまして市民農園事業の一環としての活用をいただいているところでございます。平成22年ですね、この提案施設を位置づけておりました松田町ふれあい農園の設置及び管理に関する条例が廃止され、以来、先ほど申し述べました農地法の特例に基づく運用を継続してまいりましたが、公の施設としてここで適正な管理運営を推進したいということで、本条例を定めるものでございます。

それでは、新規制定でありますために、条ごとの概要をですね、御説明をさせていただきますと思います。1枚おめくりいただきまして、1ページ目を御覧ください。まず、第1条でございます。趣旨であります。先ほどの提案理由と同内容でございます。

続きまして第2条でございます。松田町寄農と交流拠点施設の名称ですね。寄3057番地に設置する旨の規定でございます。

第3条から第7条、こちらにつきましては、施設の管理に関する規定をしてございます。2ページ目にかけてでございますが、第3条におきましては施設の管理を町長が行うこと。第4条に関しましては集会・催事等の利用に際しては許可が必要なこと。5条、6条に関しましては、管理上支障の生じる利用や行為については制限、禁止内容、こういったものを定めてございます。

2 ページ目の第 7 条におきましては、本条例に違反する場合は、許可の取り消しも行いますといった規定でございます。

続きまして、第 8 条から第 10 条関係につきましては、使用料に関する規定でございます。使用料の関係でございますので、ちょっと恐れ入りますが、1 枚おめくりいただいて、4 ページ目を御覧いただけますでしょうか。4 ページ目の一番下のほうに別表ということで掲げてございます。従来から施設で備えておりますシャワールームの料金を 1 人 1 回 300 円。また、昨年度環境を整えましたコワーキングルーム、こちらについては 1 人 2 時間まで 500 円ということで規定をしてございます。この施設につきましては、立地の関係上、川遊びやハイカーの方、ふれあい農園の利用の方以外も使っていただくことを想定しているものでございます。

恐れ入ります、2 ページのほうにまたお戻りいただけますでしょうか。この使用料に関しまして、第 9 条ですね、特別の理由がある場合は減免ができる規定が第 9 条。また、第 10 条におきましては、使用料の原則不還付を定めてございます。

3 ページ目でございます。第 11 条におきましては、利用に係る損害の賠償の関係ですね。また第 12 条におきましては、天災、事故、盗難等の不可抗力の際、町長はその責を負わないことを規定してございます。

第 13 条から 16 条ですね、こちらに関しましては指定管理に関する規定となっております。第 13 条では、指定管理者への管理の代行ができる規定。また、第 14 条におきましては、利用料金を指定管理者が収受できること。さらには、先ほど御説明した別表に掲げる金額を上限に、町長の承認を得て定めるということでございます。

15 条におきましては、指定管理業務の範囲としまして、すみません、おめくりいただきまして 4 ページ目です。第 1 号から第 5 号までございますが、施設設備の維持管理、また利用許可、利用料金の収受、その他設置目的を達するに必要な業務等が掲げられております。

第 16 条におきましては、直営とその指定管理になった場合の読み替えの規定

をしております。町長は指定管理者に、使用料は利用料金にという、いわゆる指定管理の場合の読み替え規定でございます。

最後に、17条ですね。こちらは規則委任となっておりますが、今回、本条例の施行規則案をですね、参考資料として次ページ以降に添付をさせていただいております。御高覧いただければと思います。この規則におきましては、開館時間や利用許可の手続、使用料の減免、利用者の原状回復義務等に関する規定を定めさせていただいております。

4ページ目の最後の条例の附則でございます。第1項におきまして、施行期日を令和3年10月1日とさせていただいております。これは新たに条例が設置されること、そして料金の徴集が始まるということを含みまして、一定の周知期間を考えて10月1日とさせていただいております。また第2項におきましては、この施設、13条に規定しますですね、指定管理に際し、松田町の公の施設の指定管理者の指定の手続に関する条例に基づく手続を10月1日の施行日前であっても行うことができる規定ということで、附則を定めさせていただきました。

以上、議案第25号の説明とさせていただきます。雑駁な説明で大変恐縮でございますが、御審議のほどお願い申し上げます。

- 議 長 担当課長の細部説明が終わりました。それでは、これより質疑に入ります。
- 3 番 内 田 1点お伺いします。まず、この指定管理先をどういう形にお考えになっているのかと、もう1点、規則のほうで開館時間というのが明記されておりますが、これでは年中無休でやるのか、例えば休館日等を設けるのか、ちょっとその辺がこの規則だけでは読み取れないということですけど、それについて2点、申し訳ない、お伺いいたします。
- 観 光 経 済 課 長 お答えさせていただきます。1点目の指定管理、これにつきましては、このたび提案させていただいているのはあくまで管理棟の施設だけでございます。その施設の管理を今現在の状況で申し上げれば、農地法の特例で、いわゆる市民農園、ふれあい農園のほうを管理していただいている会社が、事業者がごさいます。やはりそことの利活用、これは不可分、一体の部分もありますので、

指定管理先としては当然議会の御提案をさせていただきながら、この建物に関してはまた御提案をさせていただくものですが、まずここが一つ基本線になるかなと、担当としては考えておるところです。

2点目、開館時間でございますが、無休とさせていただいたのは、まず施設としての利用ですね、これが無休ということで、常時人がいることをなかなか想定できない施設でございます。そうした場合に、例えばトイレですとか、そういったところを御活用いただくに当たって、休みの日があるとなかなか使い勝手が悪くなるのかなと。人がいる時間帯というのもあるはあるんですけども、一応そういうことを含めて無休という表現にさせていただいているところなんです。これ、管理上、じゃあ休館日があるから、その日は使えないとか、そういった場合の施設とは少し趣が違ってくるので、そういったことを含めて、この規則の案としてございます。

3 番 内 田 説明分かりました。今のね、開館の関係なんですけど、今のお話だと、例えば一般の方がね、中津川でバーベキューやったり何かした人がトイレを使いたいという場合はね、使えるようにしたいというお気持ちだとは思いますが。前回ちょっと平面図を見せていただいたんですけど、トイレだけは、例えばあそこに管理者が誰がいなくても、トイレだけ使えるようになるのか、それともその施設全部が開いていて、自由に入ることができちゃうのか、ちょっとその辺が、よくあの図面では分からなかったんですけど。そうすると、管理の面でちょっと危険というかね、そういう面が出るのではないかとはいえますけど、その辺はどうなんですかね。

観 光 経 済 課 長 御回答申し上げます。今、私が利活用の点で川遊びも含めてというのは、まさに議員おっしゃるとおりの考え方でございます。指定管理者が決まる際には、やはりそういった一般のトイレとかの利用もうまくできる形で、さらに施設内での当然管理上の影響がないような形というのをよく事業者と協議した中で、やっていきたいなというふうには思っておりますので、よろしく願いいたします。

3 番 内 田 ちょっとよく分からない答弁だったんですけどね。いずれにしても管理者と

かね、その辺の面について、今言ったね、施設の利用の仕方については十分に協議して、施設が荒らされないように。正直言ってね。そのような方法もきちんと明確にして運営していただきたい。そのようにお願いします。以上です。

議 長 ほかにございますか。

6 番 井 上 今回の前者の質問に関連なんですけれども、管理の第13条の中で管理の代行で指定管理者ということで、指定管理者は今現在のふれあい農園の管理団体というんですか、をやっている人というふうな回答が前者のほうにあったと思うんですけれども、今現在ですね、そのふれあい農園の稼働状況等とですね、は、どの程度あられるのか。川遊びというふうな人の利用も考えられるという回答もありましたが、基本的にはふれあい農園の市民農園的に借りてですね、耕作をされる方を主に対象とされているというふうに考えますが、そういったですね、今現在の利用状況等ほどの程度でしょうか。

観 光 経 済 課 長 今現在の利用状況でございますが、そうですね、先ほど言った農園のほうの管理事業者が、人が常駐しているわけではございませんけれども、いろいろ手入れをしている最中です。引き継ぎをしたんですが、なかなか中がいろいろ状況がありますので、やっている最中です。まず、市民農園の活用状況も含めてということでしょうかね。そうしますと、前事業者から引き継いだ今現在の利用者というのは、おおむね10人程度、区画数はもう少し、15以下ぐらいだったと思うんですけれども、それぐらいということで、非常に今、利用の状況が厳しいというふうには聞いてございます。あとは、川遊びをした人に、このトイレを使ってくれというような御案内を今現在は当然しているわけではないので、そういった活用はほぼないと思います。つきましては、少ない利用者の方がその施設のトイレまたはシャワー等を御活用いただいているというのが現状でございます。

6 番 井 上 ありがとうございます。そうしますとですね、この交流拠点施設をですね、整備はされたわけなんですけれども、ここで利用料を取ってやる。例えば利用料を取るとですね、今回はこれ以降はですね、町が直接管理をするのか、指定管理かということがその次に条例のですね、議決後にですね、出てくると思

ますが。そうしますと、かなりそういう少数の利用しか見込めない中でですね、こういった利用料金を取ると、やはり毎日ですね、管理者がいないと、例えば別表8条のほうのシャワールームの利用とかですね、コワーキングルームの利用というのは、やはり鍵の施錠・開錠というものが当然伴う中で、あまり効率的ではないのかなというふうに私は捉えますが、その辺はですね、どういうふうに考えていただけるのか、お伺いをいたします。

観光経済課長 稼働状況は非常に厳しい中、こういった料金を設定することは、逆にその利用の促進を阻害するんじゃないかということも含めての御質問と捉えてよろしいでしょうか。新たにここで入ってきた農園の活用を今されてる事業者さんにおきましては、準備中の段階ではございますけども、今現在が非常に少ない利用状況ではございますが、その開設当時は100%に近い大盛況であったと。また、平成23年ぐらいですかね、この辺りで50%ぐらいになったというふうに過去の経緯を把握しているところでございます。やはり100%とは申しませんが、そこに近い形の利活用を相当見込んでおりまして、プラス立地上のやはり川遊びですね、川遊びも含めたいろんなニーズというのが、あそこでさらに展開できるんじゃないかということも、その事業者さんからお話を伺っておりますので、そういった意味ではその事業の運営に当たってですね、こういった利用料金の設定、料金の設定もいろいろ近隣の比較をしておりますけども、必ずしも高いものでは全然ございませんので、一定の活用が見込めるというふうに担当としては考えております。

6 番 井 上 担当課のほうのですね、考え方は分かりました。また、こういった施設が拠点になるということで、また新しい寄のですね、いろんな資源の活用ができるのかなというふうに考えます。そういった部分ではですね、ぜひよろしく願いをしたいと思います。

ただですね、あと1点ちょっと危惧するのはですね、今のふれあい農園の管理者がそのまま指定管理を受けた場合に、例えばふれあい農園のですね、今のところ10人で15区画しかないということで、それ以外の管理を農園管理者がするわけですね。周りが草ぼうぼうだというわけには当然いかないでしょうか

ら。そうしますとですね、そのふれあい農園管理者自体がですね、例えばシャワーームとかワーキングルームを利用してですね、そこは管理者が利用するのでというふうなね、形で、無償となるというふうな想定もありますので、その辺の対応というのをどういうふうに考えていただけるのか。それは今後の話、指定管理自体がまだ本会議の場には上がってきてませんので、将来的な話になりますけれども、その辺のですね、実態はどういうふうに考えていただけるのか、お考えがあれば伺いをしたいと思います。

観光経済課長 お答えさせていただきます。利活用が少ないということは、それ以外に農地が荒れるような形であれば、なおのこと利用も下がっていくと思います。そういう意味では、まずは利活用を増やすというのが一番本筋の話に事業者としてはなるのかなというふうには思っています。農地の管理については、当然力を入れて、よりいいイメージで利用促進を図るわけでございますけども…（私語あり）指定管理者としてのコワーキングスペースを使うというのは、あくまで別の利用者、来た方に使っていただくものでして、指定管理者が例えば入った場合には、施設の間取り図の中に事務室もございまして、そちらのほうで大丈夫だと思います。コワーキングルームを使って指定管理者が…（「シャワー」の声あり）コワーキングじゃなくてシャワー。指定管理者が使った場合に、要は料金的な話の整理のことですか。なるほど。よく指定管理者と協議して、指定管理者の指定議案を出す際には整理してまいりたいと思います。

議長 ほかにございますか。

この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが。

5 番 田 代 私、産業厚生ですので、この付託案件、詳細に審査する立場なので、大きいことだけ聞かせてください。

まず1点が、すごい気になるのが、この施設を管理棟無休とする。これ、市民農園ってハウスとかそういうの、ないですよ。露地野菜をやってる農園ですよ。そうすると、農家以外の方でもみんな分かると思うんだけど、特に寒いとき、12月から2月、あの農園の景色を想像してみてください。3月の今、暖冬だと言っても3月は寒いんです。そのときに、先ほどの話で、わずか10人程

度、15区画。宣伝して増えるかもしれません。でも、その寒いときに来られる人がいるのかな、利用されるのかな。ですから、やはり私は休館日は設けるべきだと思います。

町長にお尋ねします。ハープ館は休館日設けてますよね。それも週1日ではなくて、ある程度の2日とか、季節によって違いますけれども。今度は指定管理者に委託するときに、町で休館日を設けていて、お客さんが来ないであろうときにも無休で開けと、これは町長、どういう考えでこういう条例にされましたか。

町長 お答えします。この条例のこの規則に書かれているようにね、規則の話ですね。ここに書かれているように、休館日のところに無休とすると。ただし、町長は云々と、休館にすることができるという、原則論は無休ですよ。ただし書きがこういうふうに書かれていますよね。ここで読み取るようにですね、また開館時間についても最終的には管理運営上必要があると認めるとき、先ほど言われているように、基本的にニーズがなかったりとかですね、そういったところに関しては変更することができる。逆に長くすることもできるし、短くすることも可能だと。そこの読み替えの中で、何ていうんですかね、指定管理者さんの思いとか、指定管理になった場合ですけどね。指定管理になった場合にはそういうふうなことも検討することは可能だというふうに考えていますので、あくまでも原則ということで考えています。

またですね、ここに農と交流拠点施設の、先ほど井上議員のお話もありましたけど、新たな機能を今回追加してるわけですよね。コワーキングスペースというような。要は年中ここに来て要はテレワークができるというような枠を今回設けていますから、冬場だから人が来ないというのを先にちょっと決めつけるのもどうかなと思いつつ、ここではあくまでも全体的に一応無休でやりますけど、運営しながら、いや、ちょっと、これはさすがに難しいよということになれば、当然休館もしていくというふうに御理解いただければと思います。以上です。

5 番 田 代 町長のおっしゃられること、よく分かります。町長ね、これね、規則案です

けれども、規則がついてるからこういう議論ができるんですよ。一方で、行政協力委員、規則がついてないですよ。条例は何でもそうですけど、一番最後に規則への委任、ここで言うと17条です。この条例で定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は規則で定めると。一方の行政協力委員のほうも読み上げませんけれども、同じようになっていると思います。昔は、我々が職員のとときは条例と規則をセットで出さなければ議会は審議してもらえませんでした。説明不足だと。前からもこのお話はしてると思います。規則をつけないで平気で上程する。それでじゃあ委員会まで出しますよと。私はそういうものではないと思います。これは町長のお考えでそういうふうなあれで規則を出されないわけですか。お答えください。

町長 特別私が規則を、これはつける、これはつけないとか、一々そんな言葉で指示したことは一回もないんですけどもね。ただ、先ほど言う過去のそういうふうにしてやっていたということであれば、今、助言をいただいたので、そのような格好で対応していきたいと思います。以上です。

5 番 田 代 過去にそういうふうにはやってたんじゃないんですよ。いいですか、じゃあ。24号の行政協力委員、これの2ページ一番末尾を見てください。委任、第11条、この条例の施行に関し必要な事項は町長が別に定める。片方では規則で言ってます。こちらのほうは、前は要綱だったから、要綱にされるのか規則に…ごめんなさい。前も規則か。そうだね。規則があって廃止した。ですから、これは必要な事項というふうに書いてありますけど、私は規則でも要綱でもいいんですけども、これをやっぱりセットで添付する。条例が必ず委任しているんですよ。そういうシステムなんですよ。それで片方の規則または要綱の添付がない。これではやはり審議できないです。今までやってたから、じゃあそうしますという考えは私はおかしいと。町長、いかがでしょうか。

町長 おかしいかおかしくないかは、それぞれに考えればいいのかと思うんですけどもね。まずもって、ここに書かれているのはですね、書かれていることというか、先ほどちょっとうちの担当の課長もね、お出しするという話をしたことでもありますので、そのようにお答えしておられればいいと思います。

あとですね、この委任のところ、ちゃんと読んでもらえばいいんですよ。町長が別に定めるということで、定めて、しっかりとした形でやっていくということで、これはある意味、執行者の責任の部分になってくるんじゃないかなと思うんですけど、その辺りは議会軽視とかというよくお言葉を使われますけれども、そのようなことでやっているわけじゃないということだけ、改めて申し上げておきます。以上です。

5 番 田 代 こちらの寄の交流拠点と行政協力委員、言葉は違いますが、やはり委任しているわけですよ。今の町長のお話ですと、後で別に定めて、私の権限でやるよというお話なんですけど、条例の補完をするものが規則ないし要綱。それで、提案するというのは、それがセットで付託された委員会でも審議するんです。ですから、総務課長は提出するとお答えされたと思います。これからもそのようなルールでお願いしたいと思いますが、いかがですか。

町 長 ルール化するのであればですね、きちっと議会の皆さん方とお話をしてルール化していきたいというふうに考えています。以上です。

5 番 田 代 議会と相談してという話ありましたが、私は条例を提案する立場の方は、条例と規則ないし要綱、それはセットだと思います。見解の違いということで受けとめさせていただきます。終わります。

議 長 ほかにございますか。

この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。質疑を打ち切ります。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第25号松田町寄農と交流拠点施設の設置及び管理に関する条例については、産業厚生常任委員会に付託したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。よって、本案は産業厚生常任委員会に付託し、審査することに決定しました。

議 長 日程第3「議案第26号松田町やまびこ館の設置及び管理に関する条例の一部

を改正する条例」を議題といたします。

町長の提案説明を求めます。

町長 議案第26号松田町やまびこ館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を別紙のように定める。

令和3年6月2日提出、松田町長 本山博幸。

提案理由。松田町やまびこ館の機能を充実させることにより、施設の利活用促進を図るため所要の改正をしたいので提案するものでございます。よろしくお願いたします。

議長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

観光経済課長 それでは、議案第26号松田町やまびこ館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について御説明をさせていただきます。

この条例につきましては、豊かな自然の中でハイキングコースの入り口また寄清流マス釣り場、さらにはドッグランと観光施設も集積するこのエリアに平成6年度ですね、建設いたしましたやまびこ館の活用を促進し、地域の交流を活性化させるために現条例にはない使用料の規定を設けるなどの一部改正を行うものでございます。

それでは内容について御説明させていただきます。一部改正でございますので、2枚おめくりいただきまして、横面の参考資料、新旧対照のほうで御説明を申し上げます。それでは、第3条第2項ですね、指定管理者が行う業務に利用料金の收受等の規定を、こちらにですね、新たに第3号、第4号で追加をしてございます。

続きまして、現行の第8条から第11条、これをそれぞれ繰り下げましてですね、新たに第8条から第10条及び第13条を加えてございます。改正いたします新設するですね、第8条から第10条につきましては、新たに設ける使用料に関する規定でございまして、第8条では別表で定める使用料の額を、第9条では特認による減免を、おめくりいただきまして、第10条におきましては既納の使用料の原則不還付を定めておるものでございます。

また、新たな第13条ですね、におきましては、管理の、指定管理の代行の際

の利用料金を指定管理者が収入できること。また、同料金の額をあらかじめ町長の承認を得て定める必要がある旨の規定となっております。現行の第10条、指定管理者の管理に関する読み替えにつきましては、第14条、改正後の第14条です。ただいま御説明しております新たに加えた条の読み替えの対象を追加しているものでございます。

次のページでございますが、先ほど申し上げた別表関係、使用料の関係です。こちらにつきましては、同館を訪れた方が豊かな自然のもとで仕事や、また交流、こういったものができる環境を提供いたしますコワーキングスペース、ちょっとブース的なもので区切るのかなということで考えておりますが、その使用料として1人2時間まで500円と規定をしてございます。新旧対照表は以上でございます。

恐れ入りますが、お戻りいただきまして、議案の最終ページ、2ページ目ですかね、御覧ください。附則でございますが、施行の期日は令和3年9月1日とさせていただきます。この改正によりまして、新たに使用料の徴集をすることに係る周知もでございます。昨年度お認めいただきまして、本年度から5年間、指定管理を担っていただきます寄自然休養村養魚組合様とですね、連携してこのほうにも取り組んでまいりたいと考えております。

以上、議案第26号の説明とさせていただきます。御審議のほどお願い申し上げます。

議 長 担当課長の細部説明が終わりました。それでは、これより質疑に入ります。

6 番 井 上 2点ですね、お伺いをさせていただきたいと思います。一部改正ということで、やまびこ館自体はですね、もう既に指定管理ということで、指定管理者による管理という形になっていると思います。ただ、そのですね、指定管理者のほうの、ここで料金収入が発生をするということで、ちょっと指定管理者の委託、管理委託の条件がですね、ちょっと不明なんですけれども。現行では電気料等が発生をするということで、町からですね、委託料が出ていたのかいないのか、全額ですね、指定先は自然休養村養魚組合だと思っておりますけれども。その委託料としてですね、町から電気料等の支出が想定されて予算化されてい

るのではないかなど。そうしますと今回ですね、使用料金が発生、この条例がですね、成立しますと使用料金としてですね、指定管理者の収入として収受をします。そういった場合に、その金額的な変動があると思いますが、その辺はどういうふうを考えるのかが1点目です。

2点目はですね、第9条の使用料の減免の中で、特別の理由があると認めるときはということで、この特別な理由というのは、当然…これ、一部改正なので不明ですけども、規則等があって、その中でですね、でもここで新たに使用料が発生をしたので、規則等の改正の中でですね、その特別な理由を明示されるのか、それともここはもう単に特別な理由ということで、詳細は明示しないということなのかが分かりません。その2点をお伺いをいたします。

観光経済課長 それでは、まず、2点いただきましたので、1点目。収入がここで見込まれる場合に、委託料はどうなっていくのかということでございます。まず、先ほど申し上げましたが、指定管理者の指定の際にですね、収支計画書も含めて御提示をさせていただき、御議決を賜ったものでございますが、その際、受託収入としましては指定管理委託料として25万2,000円というのを毎年度考えてございます。支出の内容としては、お話のありました光熱水費等が主なものでございます。当然、収入が入ってきますと、こちら辺というのをまた協議をしなければなりません。新たな要素でございますので、基本的には指定管理は協定で、協定書ということで最終的に指定管理者と結んでおるものですが、その内容につきまして協議をさせていただきたいと思います。どれぐらいの利活用、当然利活用をどんどん図っていただきたいんですけども、どれぐらいになるかという見込みの状況もあります。今年度は、しかも年度当初から始まるものでもございませぬ。そういったものを加味しまして協議をしていきたいと考えておるところです。

2点目のですね、特任の減額につきましては、ちょっとケースがまだなかなかいろいろ出そろってないので、はっきりした考え方が、事例が示せなくて恐縮なんですけども、やはり使用料等を定めた場合には、こういった規定がセットで設置管理条例の場合は大体あるものと思います。ちょっといろいろなケー

スというのはまた積み上げながらかなというところもあるんですけども。要は規則でこういった場合にはというのを、今、すみません、ちょっと明示できるものがないんですけど。という状況です。

6 番 井 上 1点目のところは、現在毎年度予算で25万円の委託料を支出する見込みで今後協議をするということで了解をしました。年度末ぐらいであればある程度実績が上がるのかなというふうにも思いますので、そういった協議だと理解をいたします。

2点目のですね、特別の理由がというところで、どこかで明示されないんですね、町長が認めるときはという町長の特任事項だけになるというのは、やはり適当ではないと。先ほどのですね、議案第25号の中の規則に一番いい例がね、規則の第6条ですか、に載ってるんではないかなというふうに思います。これは担当が違う方が作られたのかどうかは分かりませんが。こういったような形でですね、議案第25号の参考資料の附則案の第6条ですね、こういった形の中で明示しないとですね、ある特定の人に対しては減免をするんだけど、そうでない人については減免をしないというような、やはり不公平さが生じないというのがですね、やはり行政がやる原則ではないかなというふうに思います。こういう立派な規則がありますので、それを参考にですね、検討されることを要望をいたします。以上です。

議 長 ほかにはございますか。

(「なし」の声あり)

この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。質疑を打ち切ります。

お諮りします。ただいま議題となっています議案第26号松田町やまびこ館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例については、産業厚生常任委員会に付託したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。よって、本案は産業厚生常任委員会に付託し、審査す

ることに決定しました。

暫時休憩します。10時15分より再開いたします。 (10時03分)

議 長 休憩を解いて再開します。 (10時15分)

日程第4「議案第27号松田町税条例の一部を改正する条例」を議題とします。
町長の提案説明を求めます。

町 長 議案第27号松田町税条例の一部を改正する条例を別紙のように定める。

令和3年6月2日提出、松田町長 本山博幸。

提案理由。地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正をしたいので提案するものでございます。よろしくお願いいたします。

議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

税 務 課 長 それでは、議案第27号松田町税条例の一部を改正する条例につきまして御説明させていただきます。

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴いまして、条文の整備等を図るものでございます。詳細につきましては4枚目の参考資料1、新旧対照表を使って御説明させていただきます。左側が改正後、右側が改正前でございます。第13条法人町民税の均等割の税率についての規定でございます。

1枚おめくりいただきまして、2ページの表の中、片仮名のオ、こちらの規定につきまして、地方税法の改正により、引用条項の号ずれが生じたことから改正するものでございます。

次に、第28条の4、軽自動車税の環境性能割の税率に関する規定でございます。こちらは令和2年度燃費基準を令和12年度燃費基準に読み替える、新たな燃費基準を踏まえた読み替え規定が追加されたことに伴い、第1号及び第2号の同条第4項の後に「又は第5項」をそれぞれ追加するものでございます。

3ページの右側、改正前の附則第13項は、固定資産税の課税標準の特例でありますわがまち特例についての規定でございますが、税負担の軽減措置が講じられている固定資産税につきまして、対象が見直されたことにより改正するものでございます。

第3号は雨水被害対策のために整備される雨水貯留浸透施設についての規定

でございますが、こちらは対象期間が終了したため廃止となります。このことによりまして、以下第4号から次の4ページ、第16号まで、1号ずつ繰り上がります。繰り上がった改正後の第3号から第15号までは地方税法附則第15条の項ずれを整理するものでございます。

また、4ページの右側、改正前の第17号に規定されている、こちらは生産性革命の実現に向け、中小企業が新規に設備投資をする一定の機械装置等という規定になりますが、こちらは既に第19号に規定されております対象設備事業用家屋及び構築物と統合するため、廃止いたします。その名称を特例対象資産といたします。附則第17号を廃止したことにより、以下1号ずつ繰り上がります。

次に、5ページの附則第23項から、6ページ、附則第25項まで、こちらに規定されております軽自動車税種別割のグリーン化特例につきまして、令和2年度分限りの規定につきましての記載を削除し、改めるものでございます。

6ページの左側の改正後、附則第26項から、8ページの第29項までは、軽自動車税のグリーン化特例につきまして、現行制度の適用車両を、減額がおおむね75%軽減となる電気系自動車等に限定し、4輪以上の営業用乗用車と3輪については令和12年度燃費基準への切替えを行った上で、その特例措置を適用期限を令和5年度まで2年間延長する規定をそれぞれ追加するものでございます。附則第26項から第29項を追加したことによりまして、8ページ、改正前の附則第26項が第30項に繰り下がります。

恐れ入ります、4枚お戻りいただきまして、改正文の4ページを御覧ください。附則でございます。第1項施行期日につきましては、公布の日から施行するものでございます。

第13条の法人町民税の均等割の税率の改正規定につきましては、令和4年4月1日から施行するものでございます。

第2項及び第3項につきましては、軽自動車税に関する経過措置、また、第4項は固定資産税に関する経過措置といたしまして、それぞれ適用となる期日とそれ以前の取扱いについて定めております。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

- 議 長 担当課長の細部説明が終わりました。これより質疑に入ります。
- （「なし」の声あり）
- 質疑なしとのお声ですが、質疑ありませんか。
- （「なし」の声あり）
- 質疑なしと認めます。討論に入ります。
- （「省略」の声あり）
- 討論省略とのお声ですが、討論を省略して採決を行って御異議ございませんか。
- （「異議なし」の声多数）
- 異議なしと認めます。討論を省略し、採決を行います。議案第27号松田町税条例の一部を改正する条例について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。
- 起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。
- 議 長 日程第5「議案第28号松田町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例」を議題といたします。
- 町長の提案説明を求めます。
- 町 長 議案第28号松田町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例を別紙のように定める。
- 令和3年6月2日提出、松田町長 本山博幸。
- 提案理由。令和3年度税制改正大綱の閣議決定に伴い、所要の改正をしたいので提案するものでございます。よろしく申し上げます。
- 議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。
- 税 務 課 長 それでは、議案第28号松田町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例につきまして御説明させていただきます。
- 令和2年12月21日に閣議決定されました令和3年度税制改正大綱により、地方税関係書類については一部を除いて押印を要しないこととされました。これにより、関連する本条例において押印を要する記載があるため改正するものでございます。

詳細につきましては議案の3枚目、最後のページになります。参考資料、新旧対照表にて御説明させていただきます。左が改正後、右が改正前でございます。

第4条第4項の審査申出書に対する押印の規定と、第8条第5項の口述書への署名押印を要する記載を削除するものでございます。

恐れ入ります、1枚お戻りください。議案改正文の附則でございます。施行期日につきましては公布の日から施行するものでございます。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

- 議 長 担当課長の細部説明が終わりました。これより質疑に入ります。
- 6 番 井 上 1点ですね、ここで、国のほうの指針の中で印鑑、押印を廃止をするという方向性が示されています。直接ここですね、その指針を受けて固定資産評価審査委員会条例の一部改正ということですが、松田町役場としてですね、かなりの数の中で申請等には署名、押印が必要な状態というのが続いていると思います。担当課長さん税務課ですので、税務課だけでもいいんですけども、その押印…署名プラス押印というものが今後どのように推移をしていくのか、現時点でのお考え等がありましたら。また、総務課長さんあたりではですね、全体、松田町役場の中のそういう申請等の手続の中での押印、署名の方向性について教えていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
- 総 務 課 長 ただいま井上議員の御質問にありました、押印廃止に伴う条例改正ということで、条例改正、各法律がありまして、廃止等の規定があればその法律に従って所管課で条例改正をしていただくような流れになっております。現在押印等の記載のある条例につきましては、固定資産評価審査委員会の条例と、あともう1条例あると把握しております。またですね、それに伴いまして、規則、規則につきましては、総務課のほうで各課に調査をこれからかけ、一括で規則改正等を行う予定でおります。以上でございます。
- 税 務 課 長 税務課としての対応ということの御質問だと思うんですけども、基本的には総務課が窓口ということで、今、御答弁させていただきましたけれども、それにのっとった形で対応をしていきたいというふうに考えております。

6 番 井 上 押印廃止の方向に動いているというふうに理解をさせていただきました。大体、じゃあ、いつぐらいの時点ですね、やはり町民のほうにですね、そういった部分での、印鑑をね、忘れてしまったんで、一回帰って取りに来なきゃいけないというような、今までは状況もあったかと思えます。そういった町民の負担を減らす方向性としてですね、いつぐらいからというのが明示できればですね、いつぐらいをめどとしたいというふうな意見をお聞かせいただけないでしょうか。

総 務 課 長 調査につきましては、各課のほうの調査につきましては、今月に調査をかせさせていただきます。また、その取りまとめについて、また取りまとめ状況ですね、観察していただいて、なるべく早い時期にそういう方向性を出していきたいと考えております。以上でございます。

6 番 井 上 終わります。

議 長 この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。質疑を打ち切ります。討論に入ります。

(「省略」の声あり)

討論を省略して、採決を行って御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論を省略し、採決を行います。議案第28号松田町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議 長 日程第6「議案第29号令和3年度松田町一般会計補正予算(第2号)」を議題といたします。

町長の提案説明を求めます。

町 長 議案第29号令和3年度松田町一般会計補正予算(第2号)。令和3年度松田町一般会計補正予算(第2号)は次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)第1条、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出そ

れぞれ2,320万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ66億3,138万1,000円とする。

2、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額、並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

(地方債の補正) 第2条、地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

令和3年6月2日提出、松田町長 本山博幸。よろしく願い申し上げます。

議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

政策推進課長 それでは、令和3年度松田町一般会計補正予算(第2号)について御説明をさせていただきます。

歳入歳出予算総額にですね、歳入歳出それぞれ2,320万1,000円を追加する補正でございます。

それでは、地方債補正の変更について4ページから御説明をさせていただきます。第2表でございます。起債の目的でございますが、1つ目に、交通安全施設等整備事業については、新松田駅南口駅前広場整備事業の町道5号線です。ね、補正後の限度額を1億1,810万円にするもので、こちらにつきましては国庫補助金の内示額の減額に伴い、170万円を増額補正するものでございます。

2つ目でございます。学校教育施設等整備事業につきましては、松田小学校整備事業にですね、よるもので、国庫補助金の学校施設環境改善交付金が増額となりましたので、ここで地方債を1億7,540万円減額をし、限度額を10億6,100万円とするものでございます。

それでは10ページ、11ページの歳入より説明をさせていただきます。国庫支出金、国庫補助金、総務費国庫補助金の企画費国庫補助金で、説明欄の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として756万4,000円を増額補正するものでございます。

次に、国庫支出金、国庫補助金、民生費国庫補助金、子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)国庫補助金で、793万9,000円の補正でございます。内訳といたしましては、非課税世帯を対象としたこの給付金事業費の補助金に680万円、そして事務費としての補助金に113万9,000円で、10分の10の補助事

業となります。

次に、国庫支出金、国庫補助金、民生費国庫補助金の子育て世帯生活支援特別給付金の（ひとり親世帯分）でございます。こちらの国庫補助金につきましては2万円分の事務費の補助金でございます。

続きまして、国庫支出金、国庫補助金、土木費国庫補助金。説明欄では社会資本整備総合交付金については187万7,000円の減額補正をするものでございます。先ほど説明いたしました、地方債で説明しました新松田駅南口駅前広場整備事業の町道5号線の国庫補助金の内示に伴い、当初予算に対し、交付金187万7,000円を減額するものでございます。この補助金の減額の要因につきましては、国がですね、優先的に児童の安全対策に伴う、通学路等を整備に重点的に交付されたことに伴いまして、当初予算に対する本町の整備事業の補助金についてはここで減額されたと想定をしているところでございます。

続きまして、国庫支出金、国庫補助金、小学校費国庫補助金、学校施設環境改善交付金につきましては、2億221万7,000円の増額の補正でございます。こちらは国の補助金の内定がですね、4月の19日にありました。補助金制度による特別加算率がですね、当初計画率の1.19から、ここで計画率が1.59に増加されたこと、またですね、このほかに外構工事の令和3年度から4年度ですね、実施予定の国庫補助金において、事業費の案分により、令和4年度に予定していた補助金の一部1,300万円が前倒しで交付される見込みとなったため、ここで増額補正をするものでございます。

続きまして、幼稚園費国庫補助金、説明欄では教育支援体制整備事業費交付金3万8,000円の補正でございます。幼児教育推進体制の充実及び活用強化を目的に行う事業に対し交付されるもので、2分の1の事業補助でございます。

続きまして、県支出金、県補助金、民生費補助金、障害者福祉費補助金、在宅障害者福祉対策推進事業補助金につきましては、重度障害者住宅設備改良事業として交付されるもので、24万3,000円を追加補正するものでございます。こちらにつきましては、利用者の増加に伴うものでございます。2分の1の補助事業で、こちらの目的は障がい者の日常生活の利便性を図り、福祉の増進を

目的に、対象者の居住環境を改善する工事費等に対し補助される補助金でございます。

続きまして、県支出金、県補助金、衛生費補助金、環境衛生費補助金の有害鳥獣捕獲奨励補助金30万円でございます。こちらはですね、県の上乗せ分といたしまして、1人に対し2,000円の交付ということで150頭分を見ているものでございます。この補助金につきましては、県の補助金といたしまして、地域ぐるみの鳥獣被害対策の取組の拡充及び野生鳥獣による被害の低減を図るため、市町村が行う有害鳥獣捕獲実施者への奨励金に対し、県が補助するものでございます。補助の内容につきましては、鹿、イノシシの捕獲において、捕獲実施者に対し、1頭当たり2,000円の奨励金を支給するものでございます。

続きまして、県支出金、県委託金、総務費委託金でございます。統計調査費委託金として、こちらは経済センサス活動調査費交付金36万円の歳入の補正となります。こちらは10分の10の補助事業で、統計法に基づく基幹統計となります。

続きまして、県支出金、県委託金、教育費委託金、教育総務費委託金。説明欄では、かながわ学びづくり推進地域研究委託金41万7,000円で、こちらも10分の10の補助事業で、内容については歳出で御説明させていただきます。

次に繰入金。基金繰入金の教育施設整備基金繰入金につきましては2,681万7,000円を補助金、国の補助金の増額に伴い、ここで減額補正を行うものでございます。

続きまして、繰入金、基金繰入金の森林環境譲与税基金繰入金でございます。新しい…松田小学校用にですね、机、椅子を購入に伴う基金の繰入金として192万円を補正するものでございます。

続きまして、12、13ページでございます。諸収入、雑入、コミュニティ助成事業助成金でございます。地域防災組織育成助成金として200万円の補正でございます。防災資機材等整備事業に伴うもので、こちらは可搬ポンプ一式を購入するための補正でございます。こちらの目的は、地域のコミュニティー活動の充実・強化、そして地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するため

の補助金となります。

次に、消防基金収入でございます。消防団員退職報償金基金収入257万7,000円でございます。歳出で御説明させていただきますが、分団長など6名の退職者報償金と同額の報償金基金からの歳入でございます。

次に、町債、土木債、交通安全施設等整備事業債につきましては、新松田駅南口駅前広場整備事業町道5号線に伴う地方債の補正でございます。こちらにつきましては国庫補助金の内示額の減少に伴い、170万円を増額補正するものでございます。

続きまして、教育債でございます。学校教育施設等整備事業債。松田小学校整備事業につきましては、国庫補助金、こちらは学校施設環境改善交付金の強靱化分の増額などに伴い、町債をここで1億7,540万円減額するものでございます。

次に歳出になります。14、15ページでございます。総務費、統計調査費、報酬、経済センサス活動調査員、調査員の報酬として3万2,000円の減額となります。この調査につきましては、調査員による調査票の回収でございましたが、このコロナ禍におきまして、国のほうの方針でですね、郵送回収というふうに変更されたことによる減額でございます。また、その回収に伴い、職員事務に伴う時間外手当12万9,000円の増、そして需用費につきましては、感染症対策用の消耗品などに21万4,000円、役務費についての郵送料に5万2,000円を増額補正するものでございます。こちらは10分の10の補助事業となります。

次に民生費、社会福祉費、社会福祉総務費、職員給与費、時間外勤務手当22万5,000円は、子育て世帯生活支援特別給付金の事務によるもので、10分の10の補助事業となります。

民生費、社会福祉費、障害者福祉費の負担金補助及び交付金、こちらは重度障害者住宅設備改良費助成金として48万7,000円でございます。2分の1の補助事業でございます。障がい者の日常生活の利便性を図り、福祉の増進を目的として行うものでございます。

続きまして、民生費、児童福祉費、児童措置費の説明欄の子育て世帯生活支

援特別給付金（その他世帯分）事業の需用費、消耗品に2万円、役務費には通知等の2万4,000円、負担金補助及び交付金、その他世帯分給付費として680万円、対象年齢等の変更に伴うシステム改修に65万5,000円、総額749万9,000円で、10分の10の補助事業となります。

続きまして、16、17ページでございます。会計年度任用職員給与費では、事務費補助員の報酬として21万5,000円でございます。10分の10の補助事業となります。

説明欄の3番でございますが、子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）については、消耗品費や役務費の部分を含めて2万円の補正で、10分の10の補助事業となります。

続きまして、衛生費でございます。報償費、有害鳥獣捕獲奨励金30万円でございます。歳入でちょっと説明させていただきましたが、10分の10の補助事業でございます。1人当たり2,000円ということで、150頭分を計画をしております。

続きまして、商工費、商工振興費、負担金補助及び交付金、感染症総合対策商工振興商品券発行事業補助金につきましては、600万円の増額補正をするものでございます。今回の600万円の部分につきましては、プレミアム率を10%増やすということで、総計でプレミアム率を30%に上げるというような補正でございます。発行総額につきましては6,500万円、プレミアム率を30%、販売額につきましては5,000万円というふうな事業でございます。

続きまして、土木費、都市計画費、都市整備費につきましては、新松田駅南口駅前広場整備事業で、町道5号線による財源の補正でございます。

次に消防費、非常備消防費、報償費の、分団長3名、班長1名、団員2名、合計6名の退職報償金として、歳入同額の257万7,000円を補正するものでございます。

続きまして、災害対策費の備品購入費では、コミュニティ助成金を活用した防災備品の可搬ポンプ購入費として229万円の補正で、災害等の備えに伴いまして購入するものでございます。

次に、18、19ページでございます。教育費、教育総務費の事務局費の備品購入費の施設用備品でございます。192万円でございます。こちらのほうは基金からの繰入れで行うものでございまして、松田小学校用の机、椅子購入費で70セット分の購入のものでございます。

(14) になります。感染症総合対策事業でございます。事務局費の需用費の消耗品は、ハンドソープを購入分として7万6,000円でございます。内訳といたしましては、松田幼稚園に7万円分、寄幼稚園に6,000円分でございます。こちらは2分の1の補助事業でございます。

続きまして、負担金補助及び交付金でございます。給食費保護者負担特別軽減措置補助金に156万4,000円の増額補正をするものでございます。こちらは要保護児童等の部分を対象にするもので、こちらのほうに新たに追加をするというものでございます。

(15) かながわ学びづくり推進地域研究事業でございます。県からの委託事業として町が受ける事業となります。各種教育の推進をはじめ、事業の運営に生かすための指導や助言を頂くため、講師への報償費や消耗品費を含めて41万7,000円を補正するもので、10分の10の補助事業となります。

次に、小学校費、寄小学校費の扶助費、要保護及び準要保護児童就学援助費に4万5,000円の、これは給食費分の減額の補正となります。こちらは2名分でございます。

次に、松田小学校費の扶助費でございますが、こちらのほうにつきましては要保護及び準要保護児童就学援助費として87万8,000円、こちらは39人分。また、特別支援学級児童就学奨励金に9万円の8人分、併せて給食費を減額するための96万8,000円となります。

続きまして、松田中学校費でございます。扶助費でございます。こちらにつきましては、要保護及び準要保護の…につきましては21人分、51万5,000円と、特別支援学級児童に対する3万7,000円の3人分に伴う給食費分の減額として総額55万2,000円、この部分につきましては、先ほどの特別軽減措置のほうの部分と同額というふうになっております。

20ページ、21ページでございます。予備費でございます。こちらにつきましては81万3,000円の増、合計として4,081万3,000円となります。

続きまして、22ページから31ページまでにつきましては第2号補正に伴う人件費等に伴う給与費明細書となっているものでございます。

最終ページ、32ページにつきましては、地方債の前々年度末並びに前年度末における現在高及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書でございます。こちらにつきましては地方自治法の施行令第144条により添付するものでございます。

以上、一般会計補正予算（第2号）について、よろしく御審議のほどお願いいたします。

議 長 担当課長の細部説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑…。
10番 齋 藤 1点だけ。ここで、新松田駅の南口の件ですけど、もうここ、この件はずっと何年もやられてると思うんですけど、最終的に松田町としてはどのような形をつくっていきたいのかということをちょっとお聞きしたいと思います。

参事兼まちづくり課長 それでは、南口の件についてお答え申し上げます。

まずですね、当初から計画そのものはずっと変わっておりませんが、まずは、今、逆に言うことができな部分を御説明できれば全体の形が見えてくるのかなと。御承知のとおり、用地買収ができてない部分が購入できますと、今ある広場が西方向に広がるという形になります。そうしますと、バスが入ってこれると。それと、県道の交差点の部分の隅切りの工事がまだ完了してありません。それと併せて出来上がるとバスが、大きなバスがスムーズに広場のほうに入ってこれると。それとですね、あと、昨日も御質問にございましたけども、エレベーターがですね、駅舎、用地買収が済めば駅舎からエレベーターが南口もつくという形と、あとバスの乗り降りに関わるシェルター、屋根ですね、待合の屋根とかですね、そういったものもできてくるという形になります。あと、一部まだ駅に向かつての歩道ができてませんので、ちょうど変電所の前ぐらいが歩道の形になってなくてですね、ガードレールで仕切られているような形ですけども、あそこの水路改修とガードレールが取れて、ちゃんとした歩道の形

になるというふうになります。以上です。

10番 齋 藤 結構長い年月かかってますよね。それと、15センチぐらい残して、道路に面さないような土地もあると思うんですけど、開発をしていかないと今いる商店の方が、先日ちょっとお話ししたら、もう出てこうかなという状況の話をされてたんですよ。いつまでたってもこの南口を開発が進んでない状況下で。そういったものがありますのでね、できれば本当に早くやっていただきたいと思うんですけども。あと隅切りの問題、エレベーターの問題。たしか現状がですね、たしか副町長が担当されてる頃かな、あそこに南口のロータリーを造るときに、待つ場所を2台ぐらいしか用意しなくて、私はそれに質問して、2台で足りるんですかというような質問をした記憶があるんですけども、現状、南口に行きますと、何十台って車が止まってて、もう片側通行で通れない状況が生まれてるんですよ。ですので、あの辺、早めに何か規制をつけないと、ましてや立花学園とか高校生たちが歩いてきたりして、あそこを渡るのに交通量が多い、集約した地域にどっと車が集まる、また雨なんか降ると、迎えの車がものすごく来てる。その状況下を見ると、これからまた松田、北口もやろうとしてるのに、1個も終わってないのに次へ行こうとしている状況があるんですよ。ですので、できれば早く、あの場所もやっていただきたいなと思うんですけども、どのぐらいのスパンを考慮されますか。

参事兼まちづくり課長 整備の期間ですけども、あくまで、御承知のとおり、用地の取得が大前提となります。用地の問題が解決すれば、例えば更地になった後からでしたら工事自体そのものは1年、もしくは2年で完了する。水路の補修もありますので、どうしても施工時期が限られてきますので、そういったことを考えても2年あれば工事は何とかできるのかなというふうに考えております。

前段で御指摘ございました駐車の状態につきましては、私どもも大変危惧してるところであります。皆様においてはですね、お待ちになる時間を少しでも短くしていただくように、お迎えに来る時間をですね、調整していただくとか、そういったことを一昨年度やっておりましたので、今年もそういった取組をしてですね、今、皆さん携帯電話をお持ちですので、電車に乗られてる方とお迎

えに来るドライバーの方と連携を取っていただいて、停車時間の短縮ということをお願いするような取組もしていきたいと思います。以上です。

10番 齋藤 分かりました。土地問題はなかなか難しいのかなと思います。先般、土地を持つ方からも御連絡いただいて、そちらまで役場の方が行かれたとかいうお話も聞いております。どのように進むのか分からないんですけども、できるだけ早めに対応していただきながら、あの地域を、ね、商業施設をもう少し造っていかないと、どんどんと衰退していく部分なのかなと考えますので、北と南両方やるのも大変かとは思いますが、その辺をお願いしたいと思えます。答えはいいですので。終わります。

議 長 ほかにございますか。

6番 井上 ページですね、17ページ、商工振興費です。先ほど財政課長のほうから説明がありましたけれども、商品券の発行事業ということで、全額財源内訳は国庫支出金600万円、全額ですね、特定財源ということですが、これちょっと、コロナ対策の事業ということで、ちょっと何回目かは、もうちょっと忘れたんですけどもね、もう数回やっているという中で、これ、今回のこの発行事業というのは、対象世帯というのはどういうふうに考えてる。限定されるのか、一般世帯ということで理解をしてよろしいのか。また、世帯当たりの限度額というのはあるのかなのかということと、あとやはり、この商品券の発行事業ということで、今までの話を聞きますと、どうしても松田町の中でしか使えないという条件ですよね。そうしますと、なかなかもう使えるお店がですね、決まっちゃっていると。特定のお店にしかですね、こういった部分のメリットがないというような話も聞きます。ここで先ほど説明の中で5,000万円の商品券の発行事業ということで、大分大きい金額がですね、30%のプレミアム率ということで大分人気も出るんじゃないかなと思う反面ですね、どういうふうな対象の世帯に対してコロナの特別対策事業としての位置づけを持っているのか等々について再度説明をお願いをいたします。

観光経済課長 何点か頂いたかと思えます。わくわく商品券、昨年も…まずちょっといろいろ御質問ありましたので整理しますと、昨年も何回かやってたというお話です。

昨年3回に分けてやりました。合計の発行総額、昨年は8,400万に及んでおります。20%です。今年度におきましては、当初予算で発行総額6,000万円であったと。それは20%のプレミアで、町の予算としては1,000万円分のプレミア分というのをお認めいただいております。20%を今回30%にさせていただくということに当たっては、プラス500万円で、600万円の予算になっておりますのは事務費の関係でございます。

でですね、議会の中でたびたびいろいろな御指摘がございました。なかなかいろんなお店に行き渡らないという御意見も頂戴していたところなんです。そういった御意見も加味しまして、商工振興会様とちょっとお打合せの中でですね、今回の10%のプレミア分については飲食店、特に毎回プレミアム商品券を出しても大体利用率が、見ますとですね、10%行かないんですね、全体の利用の中で。5%とかそれぐらいのときが多い。こういったことも加味しまして、今回はその10%のプレミア分は飲食店に向けた、限定したものを考えているというのが現在のところでございます。その他、御質問にございました対象世帯、限定するのかということに関しましては、今のところ考えておりません。金額も相当数、今回一度にやらせていただくに当たってはですね、昨年はいろいろと世帯を対象を限定してやらせていただいた部分ございましたが、今年は今のところそういう方向ではございません。

あとは、限度額につきましては、御案内のとおり、昨年まで10万円という一つの仕切りをさせていただいております。これが最終的には10万円という金額が、御利用される方が要は少なくなる、パイとしては。10万円という方が多くなってしまいます。そういうことも考えた中で、今、御提案としては限度額を下げようというお話が出ております。より多くの方に御利用いただけるのかなというスタイルを商工振興会さんのほうで考えていただいております。

最後、町外での利用もというお話もあるんですが、まずはこのコロナ対策、町内のやはり事業者が非常に打撃を受けておるものがございます。そういった意味では、一つの目的としては、やはりまず商工振興、やっぱり今厳しい状況

を少しでも改善したいという思いでの予算の色合いが強いのかなど。生活支援といった側面も当然ございますけども、私…担当といたしましては、まずその商工振興、今、厳しい状況を何とか底上げする起爆剤にしたいということでの予算でございます。以上です。

6 番 井 上 回数とかですね、対象世帯数というのは理解できました。ここでですね、新しく始まったというのは、飲食店限定の商品券が出るということで、先ほどちょっと10%というのは、5,000万円の10%という意味なのか、それともプレミアム率、先ほど財政課長の説明ですと30%というふうな説明をされたと思います。それはその当初の20%にプラス10%で30%という意味なのかですね。飲食店のほうでのプレミアム率がそれがどうなるのか。10%部分、1,000円で…20%だと1,200円ですか、で利用できるというふうに理解をすればいいのか、1,300円分が利用できるというふうに理解すればいいのか、そこのところを再度お願いをいたします。

観 光 経 済 課 長 お答えさせていただきます。ちょっと説明が足りなかったかと思いますので。まず商品券買っていただくときに、1冊という形になりますよね。要は1万円で買っていただいた場合には1,000円の券が12枚つく、これが昨年と同じスタイルの当初予算の考え方でございます。今回補正で提案させていただくのは、その12枚の券に1枚飲食店専用の券がつくと。要は13枚になると。1,000円分の券が1枚つくというのを御提案させていただくものでございます。以上です。

6 番 井 上 分かりました。結構です。

議 長 ほかにございますか。

4 番 平 野 すみません、ごめんなさい、今の、引き続きですみません。今のプラス1枚だけが飲食店のプレミアムということですかね。確認で。

観 光 経 済 課 長 最終的な今詰めをしている最中でございますけども、まずそのお認めいただく分という考え方では1枚分だけということで考えています。もう少しというような御議論も少しあると聞いてますので、ただ、1枚を基本に今協議をしているところです。

議 長 ほかにございますか。

12番 大 舘 15ページの報酬の基幹統計調査事務費に要する経費ですけれども、経済センサス、もうこれ既に行われていましたよね。たしか提出期限が今月…（「1日から」の声あり）1日から。始まるの。ごめんなさい、じゃあ、勘違いでした。既に出しちゃったもので、もう終わったのかなと思ったんですが。勘違いで、ごめんなさい。

議 長 分かりました。ほかにございますか。

5番 田 代 プレミアム商品券の関係で質問させていただきます。ちょっと聞き落としたかもしれませんけど、期間がいつまでかということで。いつスタートして、おしまいがいつか、その辺ざっくりで結構ですから、お願いいたします。

観光経済課長 期間でございますが、まずスタートがですね、今、7月の上旬で調整をしてございます。広報等の配達のタイミングで全戸配布のチラシをさせていただいてというスタートになりですね、あとは商品券自体は、ちょっと法律の名前を忘れてしまったんですけども、使える期限というのが決められております。半年だったと思うんですけども。その期限をもって終了になります。

あと、すみません、ちょっと補足で。先ほど少し私の説明の仕方が悪かったかもしれないんですが、飲食券でしか使えないという言い方をしたのは13枚のうち1枚。それ以外の12枚というのは、従来から飲食券でも使える券ですので、すみません、ちょっと誤解がありましたら申し訳ございませんでした。

5番 田 代 先ほどの課長の説明はよく分かりました。そこで、私個人の考えなんですけれども、先ほどお話ししたように、飲食店というそういう枠を設けないとどうしても特定の店に行ってしまう。先ほどの話だと、特定の店、5から10%ぐらいのところの流れってしまうというふうに私は理解したんですけど。そこで提案で、今検討してる12枚プラス1枚1,000円というのを、もう少し飲食店を増やしてもいいのかなというふうに感じます。と申し上げますのが、ワクチンが65歳以上は7月末までにある程度打ち終わると。その並行して65未満の方も順次ワクチン接種が進んでると。飲食店についてはやはり、御存じのように、こちらまん防対象区域ではないんですけどもね、かなり厳しい営業をしてると。そういう考えからも、私は1,000円ではなくて、もう少し増やすことを、例え

ば2,000円、1,000円券を2枚、3枚、そんな形にさせていただきたいということで、これは要望ということで受け止めていただきたいと思います。終わります。

議 長 ほかにございますか。

(「なし」の声あり)

この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

6 番 井 上 先ほどちょっと1点ですね、あれだったんですけども。可搬ポンプのほうのですね、歳出のほうの説明がちょっとなかったと思うんですけども、この可搬ポンプについてはですね、歳入のほうの説明の中でのあれでは、分団に納入をするのではないような説明をされたと思うんですけども、対象…購入先はどちら…あ、購入…配備先ですか、はどちらになるのか。

総 務 課 長 現在中里自治会を予定しています。以上です。

議 長 ほかにございますか。

6 番 井 上 今回の関連なんですけれども。そういった形の中で自治会にですね、その可搬ポンプをとると、自治会のほうの要望も当然あると思いますが、町のほうの考え方としてですね、その可搬ポンプの配備というのはどういうふうに考えられるのか。最終的にはですね、全自治会を対象に可搬ポンプを配備をしていくのか。それとも、隣接をしている自治会等で人数少ないところがあるかと思っています。そういったところで共用してやるというふうな考え方もあろうかと思っています。その辺の可搬ポンプの配備体制。これは補助金のほうではコミュニティ助成事業補助金ということで、宝くじ等の売上げの助成対象ということで、毎年ですね、こういった購入が見込めるのではないかなというふうにも思います。そうしますとですね、その辺の可搬ポンプの配備体制をどのように考えているのか、お伺いをいたします。

総 務 課 長 まず、このコミュニティ助成につきましては、申請をして…今、井上議員がおっしゃられた宝くじの中で交付決定がされていくものなんですけど、残念ながら、毎年その交付決定がされていくものではないんですね。御存じのとおり。2年に1回とか3年に一遍の形で今現在頂いているような状況でございます。そのような中でですね、自治会さん等ともですね、要望等を取りましてですね、

随時それ希望のあるところに設置をしているような形でございます。以上でございます。

6 番 井 上 要望のある自治会だけに対応していくと、そういった配備体制は特に今、町のほうは考えがないということでしょうか。

総 務 課 長 今後はですね、もうちょっとそういうような形で、一度その自治会さんでですね、そういう可搬ポンプ等の防災資機材の要望等も取りましてやっていきたいと考えておりますが、一応、先ほどもお話ししました補助金等を使いながらうまくやっていきたいと思っておりますので、少し期間的に空いてしまう可能性等もありますが、一応そういう形で考えております。

6 番 井 上 終わります。

議 長 この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論に入ります。

(「省略」の声あり)

討論を省略して、採決を行って御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論を省略し、採決を行います。議案第29号令和3年度松田町一般会計補正予算(第2号)について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

暫時休憩します。再開は11時25分とします。(11時13分)

議 長 休憩を解いて再開いたします。(11時25分)

参事兼まちづくり課長、何か。

参事兼まちづくり課長 昨日ですね、田代議員の一般質問の中で資料の提出ということで、本日、朝、間に合いませんでした。この場ですね、資料が整いましたので、提出をさせていただきたいと思っておりますので、お取扱いをよろしく願いいたします。

議 長 それでは、事務局、配付、お願いします。

(資料配付)

配り終えましたようですので、参事のほうから何か説明ありますか。まちづくり課長。いいの。説明なし。特に。

5 番 田 代 昨日の議会でお願ひした資料の配付、ありがとうございました。これは一番新しい資料ということでよろしいですね。3月25日に私、松田町の未来を学ぶ会で頂いた資料なんです。それで、それまで町からこういった資料頂いてなかったです。今、もう6月2日になっていますけれど、今現在ではこの資料が一番新しいと、そういうことでよろしいかというのは。確認です。

参事兼まちづくり課長 そのように考えております。

5 番 田 代 それでは、一つ2ページ目、次のページを見ていただきたいと思います。費用ということで、事業全体ということで平成28から30年、これ自体前回見させていただいた冊子ですよね。問題なのは、この集約施設から駅前広場、南北自由通路、これについて5月の18日、全員協議会で皆さん渡されたと思うんですけれども、進捗状況。5月の18日に全員協議会で渡された進捗状況。それに、今ここに書いてある集約施設、新松田周辺地域整備促進業務委託、合計809万。これは令和元年から2年度まで。3月19日ですから、もう工期が来ています。次に、新松田駅周辺整備促進コーディネート業務委託、これも令和2年5月から3月までで137万9,000円、これも工期が来てます。駅前広場関連、将来交通量推計検討業務委託ということで407万円、これも3月で工期が終わっています。一方で、5月18日に渡されたペラの資料で、見出しですよ、こんな内容ですというふうに頂いています。5月31日出納閉鎖となりました。当然この計画費、調査費のようなものが全部でこれ、一番下の南北自由通路はコロナの影響で繰り越して8月31日までなんで、まだ冊子は出てないと思います。ただ、上の3点については当然冊子があって、我々に説明してもらっていいと思います。ということで、この6月定例会会期中に、成果品である本冊子の配付と詳細説明、これを求めます。これについて議員各位にお諮りすることを議長にお願い申し上げます。

議 長 ただいま田代議員…。

参事兼まちづくり課長 1点、この各委託の内容が書いてあるのがあると思いますけども、このもの

の中にですね、冊子として成果物が上がってるものとそうでないものがあります。今、私、ちょっと記憶が定かではないんですけども、例えばですね、集約施設の支援業務というのはファイルが1冊ですね、各個人の方のその御希望だとかそういったことをやってるものです。冊子としては出来上がっておりません。ないものです。成果物は上がっています。それから、コーディネートについてもファイル1冊としてきちとうちのほうに上がっております。それから、駅前広場の関連の将来推計というのはですね、交通量調査を分析した資料でございます。をですね、冊子というか、ファイルで上がってるもので、例えば、一番上の委託…策定業務委託の計画編みたいなもので、きちっとそういう形で議員の皆さんにお配りするような冊子としての形はないものです。以上です。

5 番 田 代 できてる範囲内で結構ですよ、発注した仕様書がありますよね。それに対して納品になってるわけですよ。それでお金を払ってるわけですよ。ですから、私が言いたいのは、皆様やっぱり説明責任があるわけですよ、新松田事業をこういうふうに展開してますよ。それが、申し訳ないけど、これだって何も情報提供なかったでしょう。任意団体に配られて、後で私どもが知った。その前は、申し訳ないけれども、平成31年7月に配られた資料を我々が議会報告会を行うために議員で作りました。そのときにパワーポイントで、あのとき抜けていた…自由通路、橋上駅舎の分がたしか抜けてたと思います。または駅広かどちらかなんですけど。それをパワーポイントで示されたのを議員が書き取って作ったんです。当時。それからは何にも示されてない。3月の全協で公共事業分の対象事業費49億が示された。149億というのは確かに前の積み上げるとありますけれども、やはり執行者側として議員にしっかり丁寧に説明すべきだったと思います。これも15ページとか16、17、ここにページ振ってありますよね。多分最低17ページぐらいの中の抜粋だと思うんですよ。それが今回やられたこの事業なのか何なのか分からないけれども、ある程度調べたものを議会が予算を承認したんだから、逆に決算のときに説明する義務があると思うんです。私、この決算額なんて知らないですよ、ここに書いてあるのが。ここに全部出てま

すよね。昨日質問しようと思ったんだけど、予算額で初め追ったんです。よくよく見たら、これ決算出た。それが決算審査終わらないでこういう形で出たのはどうかなというのは、これは議論しませんけれども、要はお話したいことは、今お話ししたように、相当の額を出してるわけですよ、合計で2,753万、そのうち繰越しになってる部分は結構ですよ、8月31日になれば分かるわけだから。でも、その残りの金額、大きなお金を出してるわけです。それをそれなりに説明する義務が私はあると思います。ですから、この内容について議員に理解できる資料の提供、これを配付いただいて、説明いただくことを議長にお諮りします。

議 長 参事兼まちづくり課長、午後、全員協議会が予定されてますけど、その席上まで、その時間までに用意、皆さんにして、詳細説明が可能ですか。

参事兼まちづくり課長 資料そのものは全て用意できてますので、先ほど全部じゃなくてもいいと。概略でもいいから資料を抜粋して内容を説明してほしいという御意見でございますので、全協に間に合うように御用意させて…（私語あり）

5 番 田 代 すみません、そのときに仕様書、発注のときの仕様書もつけてください。あと、今の日程については全協も予定あると思うんでね、今日とかそういうことは私申し上げませんので、議長または議運の委員長の判断にお任せしますので、その御指示されたときに説明いただくと。私からは以上、要望いたしまして終わります。

参事兼まちづくり課長 すみません、こちらの資料ですね、先ほど田代議員がおっしゃったとおりに、3月の時点、3月の中旬ぐらいだったと思います。ちょっと私、数字を確認してないんですけども、最終でですね、委託のほうはどうしてもコロナの関係でできなかったものを、たしか設計変更をかけているんじゃないかと思っています。数字がどの時点での数字かというのを今確認しておりませんので、そのときにはこの、変更契約が生じていたらその数字に直させていただいて、なおかつ提出させていただきたいと思います。以上です。

5 番 田 代 そのようにお願いいたします。

議 長 それでは、以上でこの件に関しては終了といたします。

続きまして、本日の会議を開きたいと思います。

議 長 日程第7「議案第30号令和3年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）」を議題といたします。

町長の提案説明を求めます。

町 長 議案第30号令和3年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）。令和3年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）は次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）第1条、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ228万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7,452万9,000円とする。

2、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和3年6月2日提出、松田町長 本山博幸。よろしく願いいたします。

議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

町 民 課 長 それでは説明させていただきます。今回の補正は診療時に実施する一般病理検査委託料とそれに伴う診療報酬の増額、レセプトシステムの入替えに伴う電子カルテ分の追加でございます。

それでは、歳入歳出事項別明細書により説明させていただきます。8ページ、9ページをお開きください。歳入から説明いたします。款1診療収入、項1外来収入、目4後期高齢者診療報酬収入でございます。後ほど歳出で説明いたします一般病理検査委託料と同額の228万円を後期高齢者診療報酬収入として増額いたします。

次のページをお開きください。歳出について説明いたします。款1総務費、項1施設管理費、目1一般管理費につきましては、当初予算に計上いたしました備品購入費のレセプトシステムに電子カルテ分104万5,000円と保守委託料の追加分5万円を増額するものでございます。国保診療所では週1回、足柄上病院の医師に交代で診察していただいております、以前より電子カルテは導入しないのですかとお声を頂いておりましたが、令和2年度までは前任の山田先生が

紙のカルテを使用しておりました。令和3年4月に就任いたしました永井先生からも、電子カルテのほうがいいですよとのお話を頂いたもので、今回レセプトシステムの入替えに併せて、電子カルテもセットで導入するものでございます。

款2医業費、項1医業費、目4病理検査費につきましては、診察時に実施する血液検査などの一般病理検査委託料を228万円増額するものでございます。

款4、項1、目1予備費につきましては、歳入歳出の差額を計上させていただいております。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

議 長 担当課長の細部説明が終わりました。これより質疑に入ります。

6 番 井 上 1点だけお願いします。歳出のですね、病理検査費で228万円ということで、これは新しいドクターが来られたので、今までの患者さんに対する病理検査等が増えたというふうに理解をしますけれども、歳入がですね、これ後期高齢者診療報酬というふうになってます。この病理検査は後期高齢者の分のみにですね、この検査をしたということで、それに対する歳入が目の後期高齢者診療報酬収入というところで計上をされているんだというふうに理解すればよろしいんでしょうか。

町 民 課 長 今回永井先生に替わりまして、初めて診る方については検査を実施したいということで、今回その分を増額させていただいたんですけども、診療報酬として入ってくる場所につきましてはですね、患者さんで一番多いのが後期高齢者ということで、便宜上ここへ一括して入れさせていただきました。決算のときにはちゃんと社会保険の方、国保の方、後期高齢者の方と3段階に分かれますので、よろしくお願ひいたします。

6 番 井 上 了解しました。

議 長 ほかにございますか。

(「なし」の声あり)

質疑ないようですので、質疑なしと認め、討論に入ります。

(「省略」の声あり)

討論省略とのお声ですが、討論を省略して採決を行って御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

討論を省略し、採決を行います。議案第30号令和3年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議 長 日程第8「議案第31号令和3年度松田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)」を議題といたします。

町長の提案説明を求めます。

町 長 議案第31号令和3年度松田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)。令和3年度松田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)は次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)第1条、既定の歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ220万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億5,186万9,000円とする。

2、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

(地方債の補正)第2条、地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。
令和3年6月2日提出、松田町長 本山博幸。よろしく願いいたします。

議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

環境上下水道課長 議案第31号令和3年度松田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)につきまして御説明をさせていただきます。

初めに1ページでございます。今回補正予算につきましては、歳入歳出予算の補正、地方債の補正で220万円を減額するものでございます。

次に3ページでございます。第2表地方債の補正でございます。公共下水道事業につきましては、普通交付税基礎通知により算出した下水道事業特別措置分の限度額が100万円減額となったことに伴い、限度額を3,850万円に変更する

ものでございます。酒匂川流域下水道事業につきましては、令和2年度への増額補正対応により120万円減額したことに伴い、限度額を340万円に変更するものでございます。

続きまして、10、11ページでございます。歳入でございます。町債、町債、目、下水道事業債でございます。今御説明いたしました第2表地方債の補正と同じ内容で、公共下水道事業債につきましては限度額が減額になったものでございます。酒匂川流域下水道事業債につきましては、令和2年度に120万円減額をしたものでございます。

続きまして、12、13ページでございます。歳出でございます。款3流域下水道事業費につきましては、酒匂川流域下水道事業建設費負担金につきまして98万7,000円を減額するものでございます。こちらは令和2年度の3月補正にて125万7,000円を持っていった分につきまして減額によるものと、当事業にかかります単独事業分27万円につきまして、当初予算積算時以降に増額が示されましたので、その分を増額させていただいたものでございます。公債費につきましては、下水道事業債特別措置分の限度額が100万円減額となっておりますので、財源補正を行うものでございます。予備費につきましては121万3,000円を減額し、合計138万5,000円となっております。

最後に14ページでございます。地方債の前々年度末並びに前年度末における現在高及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書でございます。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしく願いいたします。

議 長 担当課長の細部説明が終わりました。これより質疑に入ります。

6 番 井 上 1点ですね、分からないんですけども、ページ12ページの財源内訳、4番、款の4の公債費です。ここですね、公債費というのはもう既に借りた起債に対する返済、償還分ですよ。財源内訳としてそこで町債が100万円減額で、その不足した分を一般財源で100万円プラスというふうな財源内訳というのはあり得るのか。先ほど3ページの地方債補正の中で交付税措置分の減額によると。交付税措置分の限度額の変更によって100万円公共下水道事業債が減るという説明は理解できましたけれども、そうすると、そこの元の起債が、公共下

水道事業債が公債費という元利償還金のうちの元金の償還分に充当をしていたという説明というのはちょっと理解ができませんので、再度説明をお願いいたします。

環境上下水道課長 この件につきましては、毎年交付税の算定を行ってると思うんですが、その中でこの特例措置分について…（「ちょっとはつきり。もうちょっと聞こえるように。」の声あり）毎年ですね、普通交付税の算定を年度当初行ってると思うんですが、その中で特例措置分につきまして100万円ずれてるというのがちょっと判明しまして、それについてここで財源の補正をさせていただくものでございます。

6 番 井 上 今何か、普通交付税の算定ですね、今、7月…前は7月ぐらいにやってたんですけども、その算定という意味ですかね。それが、今何か説明はずれてるというのがよく分からないですし、その部分は一般会計の部分の普通交付税という意味でいいわけですよ。そうすると、そこの一般会計から下水道への繰出金というのは出てますけども、それはもう下水道の一般財源というふうな理解になると思うんですけれども。そういった部分で再度お願いをいたします。

環境上下水道課長 交付税は当然一般会計の交付税の算定の中で、この下水道の特例措置分に関する部分のこの100万円の認識誤りというか、そういう部分が見つかりましたので…（「ちょっと今、そこら辺がはつきり分からないんですよ。」の声あり）

町 長 認識誤りとかそうじゃなくて、あのときはさ、何ていうかな、まず補正予算じゃなくて、まず一般財…一番初めに当初予算があるじゃないか。その後、年度末ぎりぎりになってこういうふうにしたほうが来年度に得するからということとでさ、やったわけよ。それで、やった後もまた精算したらこれが出てくるんだから、ずれてるに決まってるわけよ。ね。途中あれをやったから借金も公債費も増やさなくていいことになったんで、一般財減った。だから、その分、一般財を使わなければいけないから予備費が減った、そういう説明で終わりじゃん。難しくないよ。

環境上下水道課長 令和2年度中に措置をしたことによって…（「何の措置したの。」の声あり）すみません。前倒しして借りた分についてでございます。それについて精算し

たらこのような形になったということで、このような財源補正をしております。

6 番 井 上 それは令和2年度中に期前という起債の前貸しをしたという話ですか。じゃあ、それは令和2年度の出納整理期間の中で、その起債前貸しを最終的に本債の部分で調整できる話じゃないんですか。それが何でこの令和3年度の補正予算まで影響してくるのがちょっと理解できませんが、いかがでしょうか。それとも繰越しと何か…これは繰越しと違うよね。

町 長 すみません、何でも覚えているわけじゃないんですけれどもね。まず、当初予算のタイミングではですね、挙げさせてもらった数字があったんですけども、その後、流域下水道のこの担当者さんの…（「3年度の当初予算。」の声あり）そうそう、そのとおりです、おっしゃるとおり。令和3年度の当初予算で組んだ後、後にですね、たしか、説明はどのタイミングだったかあれですけど、皆さん方に説明申し上げたかと思うんですけども、流域下水の中で最終的に今お金を、資金を今のうち借りたり調整することによって来年度の負担が減るよと。また、借りる利率…利率だったかな、何かプラスに働くので、そうさせていただきますという流れがあって現在に至ってるところです。その手続を取ったおかげでですね、令和3年度の当初予算の後、その手続の後のこの今回先にやった分をここで補正をさせていただくと、そういった流れだというふうに私はちょっと理解をしてました。以上です。

6 番 井 上 ちょっとよく分かりませんので、ここはですね、財源内訳に関する質問だけです。後ほどですね、担当のほうから説明を、詳細な説明を受けたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

議 長 ほかにございますか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。討論に入ります。

（「省略」の声あり）

討論を省略して、採決を行って御異議ございませんか。

（「異議なし」の声多数）

異議なしと認め、討論を省略し、採決を行います。議案第31号令和3年度松

田町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議

長 以上で本日予定しました日程の全てが終了しましたので、本日の会議はこれにて散会いたします。この後、昼食を取っていただき、議会全員協議会を開催しますので、議員及び町長以下職員は午後1時までに大会議室にお集まりください。

今後の日程についてお知らせします。明日6月4日、総務文教常任委員会は委員長の指示に従って、午前9時から大会議室で付託された議案第24号の審査をお願いします。産業厚生常任委員会は委員長の指示に従って、午後1時から大会議室で付託された議案第25号と議案第26号の審査をお願いいたします。6月5日と6日は休会とします。6月7日は午前9時より本会議を開きますので、定刻まで御参集ください。なお、6月4日、委員会審査の時間を設けておりますが、この時間が足りない場合には6月7日にずれ込む可能性もありますので、その辺はお含み置きお願いいたします。

本日は御苦労さまでした。

(11時55分)